

土壤環境施策に関するあり方懇談会（第2回）議事要旨

1. 日時

平成19年7月31日（火）9：30～12：00

2. 場所

環境省第1会議室

3. 出席委員

座長	高橋	滋
委員	石渡	秀雄
	大塚	直
	荻原	勉
	奥村	彰
	神谷	文吾
	栗原	明広
	佐藤	泉
	佐藤	雄也
	正保	剛
	鈴木	一男
	中杉	修身
	早瀬	保行
	廣田	裕二
	藤井	良広
	細見	正明
	前川	統一郎

（欠席は、嘉門委員）

4. 委員以外の出席者

環境省

竹本水・大気環境局長、寺田水環境担当審議官、岡部総務課長、坂川
土壤環境課長、藤塚地下水・地盤環境室長、高澤土壤環境課課長補佐、佐
藤土壤環境課課長補佐

参考人

石原 肇 東京都環境局有害化学物質対策課副参事
北田博雄 千葉県環境生活部資源循環推進課副課長兼資源循環企画室長
奥村興平 応用地質株式会社 東京本社 技術参与
浦 満彦 鹿島建設株式会社 環境本部 本部次長
金原暁治 三友プラントサービス株式会社 取締役副社長
吉田和矩 ERM日本株式会社 代表取締役

5．議題

- (1) 土壤汚染対策法の施行状況等について
- (2) 土壤汚染に関する現状把握のための関係者からのヒアリング
地方公共団体
調査、対策、処理事業者
- (3) 諸外国の法制度、実態等について

6．議事概要

議題(1) 「土壤汚染対策法の施行状況等について」

事務局から資料2に基づき土壤汚染対策法の施行状況等について説明がなされ、その後、質疑応答がなされた。

議題(2) 「土壤汚染に関する現状把握のための関係者からのヒアリング」について

地方公共団体

最初に、東京都の石原肇参考人から、東京都における土壤汚染対策の現状と課題について、資料3に基づき説明がなされ、その後、質疑応答がなされた。

次に、千葉県の前田博雄参考人から、千葉県における残土問題の現状について、資料4に基づき説明がなされ、その後、質疑応答がなされた。

調査、対策、処理事業者

最初に、奥村興平参考人から、土壤汚染調査の現状と課題について、資料5に基づき説明がなされた。

次に、浦満彦参考人から、土壤対策工事の現状と課題について、資料6に基づき説明がなされた。

続いて、金原暁治参考人から、汚染土壌の搬出及び処理・処分の実態について、資料7に基づき説明がなされた。

その後、これらについて質疑応答がなされた。

議題(3) 「諸外国の法制度、実態等について」

最初に、大塚直委員から、諸外国の土壤汚染対策の法制度について、資料8に基づき説明がなされた。

次に、吉田和規参考人から、諸外国の土壤汚染対策の現状について、資料9に基づき説明がなされた。

その後、これらについて質疑応答がなされた。

7．配付資料

資料1 委員名簿

資料2 土壤汚染対策法の施行状況等に関する補足説明資料

資料3 東京都における土壤汚染対策の現状と課題

- 資料 4 千葉県における残土問題の現状について
- 資料 5 土壤汚染調査の現状と課題
- 資料 6 土壤汚染対策工事の現状と課題
- 資料 7 汚染土壌の搬出及び処理・処分の実態
- 資料 8 諸外国の土壤汚染対策の法制度
- 資料 9 諸外国の土壤汚染対策の現状